



給食だより 1月

古川国府給食センター

あけましておめでとうございます 年

いよいよ学年最後の学期となりました。風邪やインフルエンザなどの感染症を防ぐには、きちんと手を洗うこと、食事をしっかり食べること、ストレスや疲れをためないことが重要です。引き続き、一人ひとりが感染予防を徹底しましょう。さて、年末年始は生活習慣が乱れやすく、食べ過ぎや運動不足などで太りやすい時期です。規則正しい食生活を心がけるとともに、意識して体を動かし、“正月太り”を解消しましょう。



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

日本の学校給食のあゆみ

学校給食の始まり

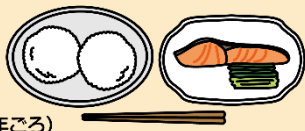
明治22（1889）年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。大正12（1923）年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり

焼き魚

漬物

（明治22年ごろ）



五色ごはん

栄養みそ汁

（大正12年ごろ）



支援物資による学校給食の再開

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21（1946）年12月24日にLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。

ミルク

トマトシチュー

（昭和22年ごろ）



コッパン・ミルク

クジラの竜田揚げ

せん切りキャベツ

（昭和25~30年ごろ）



バラエティー豊かな献立内容に

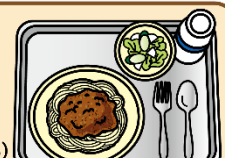
昭和29（1954）年に「学校給食法」が成立したことで、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯（ご飯）が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミートスパゲッティ

牛乳

フレンチサラダ

（昭和40~50年ごろ）



カレーライス

牛乳・塩もみ

ゆで卵

（昭和51年ごろ）



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。

おむすびの日

1995年のこの日、
阪神・淡路大震災という
大きな地震が
起きました



1月17日は
おむすびの日です

おなかをすかせて
不安な中



食べ物が手に入らず
食糧不足に悩んでいた



ボランティアによって
届けられたおむすびは



みんなの心と体を
元気づけてくれました

食べ物の大切さと、みんなで
支え合う心を学ぶ日にしましょう。

1月の行事&記念日 3択クイズ



こたえ

Q1=① [巻物(書物)を表す] Q2=② [かぶは「スズナ」] Q3=①

1/1 元日



Q1 おせち料理の「だて巻き」には、
どんな願いがこめられている？

- ① 知識が身につくように ② 恋がうまくいくように ③ 長生きできるように



1/7 人日の節句



Q2 この日に食べる春の七草
の中で、スズシロとは何のこと？

- ① かぶ ② 大根 ③ れんこん



1/11 塩の日



Q3 「塩少々」とは、どのぐらい？

- ① 2本の指でつまんだ量 ② 小さじ1ぱい ③ コップ1ぱい

